

## 山陰近畿自動車道（網野～久美浜）計画検討委員会 設立趣意書

山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）は、鳥取県東部、但馬、京都府北部の各地方生活圏を連絡するとともに、山陰道、中国横断自動車道姫路鳥取線、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道等との連携により広域的な循環ネットワークの形成を図る延長約 120km の路線であり、日本海側におけるミッシングリンクを解消し、国土強靱化にも大きく寄与する重要な高規格道路であるが、令和 6 年 3 月現在、未供用区間は未だ約 72km に及んでいる。

京都府域については、計画延長約 43km のうち、平成 23 年 3 月 12 日に宮津与謝道路が、平成 28 年 10 月 30 日に野田川大宮道路がそれぞれ開通しているものの、未供用区間は約 32km にも及び、そのうち、京丹後市網野町から京丹後市久美浜町までの約 19km においてはルートさえ未策定であるなど、京都府域における山陰近畿自動車道の整備は立ち遅れている状況にある。

そのため、京都府では、山陰近畿自動車道の早期全線開通の実現に向け、府の総合計画において、網野～久美浜間におけるルート確定の促進を重点分野と位置付け、ルート検討の基礎となる交通や環境、土地利用、社会・地域経済などの情報収集やデータ分析等を、道路管理者として地元市町と協議しながら促進してきたところである。

今般、こうした基礎的資料が整ったことから、地域の声を計画に反映しつつ、客観的かつ合理的な道路計画を策定するために、「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」（H25.7 国土交通省道路局）を踏まえ、最適なルート検討を実施することとし、検討にあたり、学識者、民間団体、京丹後市による『山陰近畿自動車道（網野～久美浜）計画検討委員会』を設置する。